

「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	尊徳さんの田んぼで米作り体験事業		
年月日	平成23年5月から11月	場所	国指定史跡 桜町陣屋跡
参加者	子ども、保護者	人数	100人

関連する憲章の条文

とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り 子どもたちに引き継ぎます
子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます

〔事業の概要〕

地元自治会や二宮神社氏子会、二宮報徳会等の会員で組織する「史跡桜町陣屋跡の保存と活用を考える会」では、史跡の保存と有効な活用を図り、広く二宮尊徳翁の功績を後世に伝えることを目的に、史跡内の田んぼ約2.5アールで有機無農薬栽培による米作り事業を行っています。

参加者は、広く市内外から募集すると共に、JAはが野で募集した小学生を加えて、保存と活用を考える会の会員やJAの職員が指導をしながら、半年かけて米作りを行うもので、今年で5年目を迎えました。

〔今年度の事業の様子〕

年間5回実施します。毎回、真岡北陵高校の生徒たちが、有機無農薬栽培の勉強になるとのことで、ボランティアとして参加しています。また、昼食はこの報徳田で収穫した米を使って、カレーライスやおにぎりを作って食べますが、地元やJA、料理会の方がボランティアで作ってくれます。

- 5月29日：田植えを行いました。天気はあいにくの雨でしたが、田んぼに入り泥だらけになりながら、苗を植えました。
- 6月26日：草取りや、二宮尊徳さんについての学習会を行いました。無農薬で栽培しているため、草も元気がよく、とるのが大変ですが、皆さんがんばっていました。
- 7月31日：カカシ作りを行いました。出来上がったカカシを田んぼに立て、カカシコンテストも行いました。
- 9月25日：稲刈り、おだかけを行いました。米作りの中で一番興奮する作業です。今年の出来を体感しながら収穫しました。
- 11月13日：収穫祭を行いました。収穫祭では、全5回参加した方への皆勤賞の表彰やカカシコンテストの表彰を行いました。また、サツマイモ堀りなども行いました。昼食時には尊徳太鼓の演奏を聴きながら、収穫した米で作ったおにぎりを参加者全員でおいしくいただきました。手塩にかけて育てた米は、一粒一粒がしっかりとっていて甘みがあり、いつも食べている米の味とは違っていました。



カカシ作り



稲刈り



収穫祭